

臨床検査医学講座 (検査部・輸血部を含む)

著 書

- 1 青木洋介, 藤野聖子, 山口常子: 市中肺炎の予防—慢性誤嚥患者の予防的管理について. 中浜 力編: 市中肺炎の外来マネジメント. 141-147, 医薬ジャーナル社. 大阪 2004.

学術論文

- 1 青木洋介: 新型肺炎 (SARS) の流行を想定した今冬の外来発熱患者さんの診療. 武雄杵島臨床医学誌 14: 76-80, 2004.
- 2 青木洋介: 高齢者の肺炎に備える: 他の年齢層とは異なる様々な特徴. メディカル朝日 33: 30-31, 2003.
- 3 福岡麻美, 青木洋介: 内外の肺炎ガイドラインと「検査」の関わり. Infection and Technology 16: 11, 2004.
- 4 青木洋介: 急性気道感染症の外来診療における検査. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 963: 40-41, 2004.
- 5 青木洋介: 採血の負うリスクについての再考: 真空採血管を用いた採血. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 964: 21-22, 2004.
- 6 青木洋介: CRP (C 反応性蛋白) について. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 965: 55, 2004.
- 7 青木洋介: 腫瘍マーカーの解釈に及ぼす疾患頻度の影響. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 966: 46, 2004.
- 8 青木洋介: 尿検査は採尿したら迅速に. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 967: 34-35, 2004.
- 9 青木洋介: 尿蛋白の基礎知識およびプライマリケアにおける対応. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 968: 17-18, 2004.
- 10 青木洋介: 尿路感染症と尿細菌培養. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 969: 39, 2004.
- 11 青木洋介: 発熱の病態および馴染みのうすい鑑別疾患について. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 970: 34-35, 2004.
- 12 青木洋介: 体重減少の評価. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 971: 30-31, 2004.
- 13 青木洋介: リンパ節腫大の評価. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 972: 27-28, 2004.
- 14 青木洋介: 体重過多 (オーバーウェイト) と肥満の評価. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 973: 48-49, 2004.
- 15 青木洋介: 高齢者肺炎の特徴. 医界佐賀・臨床検査一口メモ 974: 36-37, 2004.
- 16 青木洋介: 院内肺炎. 今月の治療 12: 81-84, 2004.
- 17 青木洋介, 福岡麻美, 林真一郎: 市中肺炎. クリニカ 31: 111-116, 2004.
- 18 青木洋介: 起炎菌をどう絞込み, 感受性成績をどう読むか. 感染と抗菌薬 7: 21-28, 2004.
- 19 福島伯泰, 船井典子, 末岡榮三朗, 佐野雅之: 濾胞性リンパ腫の病態と治療. 治療学 38: 33-35, 2004.
- 20 福富由美子, 高柳 恵, 草場耕二, 永沢善三, 大隈雅紀, 清祐麻紀子, 青木洋介, 永山在明: 佐賀大学医学部附属病院における *Haemophilus influenzae* の検出状況と各種抗菌薬に対する感受性について. THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS 57: 187-195, 2004.

- 21 °小林由美, 水田敏彦, 安武 努, 川副広明, 江口有一郎, 尾崎岩太, 久富昭孝, 青木洋介, 中島幹夫, 山元匡介: 救命し得た *Vibrio vulnificus* 敗血症の1例. 臨床と研究 81: 29-32, 2004.
- 22 °久保田寧, 佐野雅之, 中里幸恵, 常吉直子, 冨栴りか, 桑原伸夫, 福島伯泰, 船井典子, 菅 謙司, 末岡榮三朗: 免疫抑制療法で抗体は消失するも重篤な日和見感染症を併発した高力価後天性第Ⅷ因子インヒビター陽性症例. 臨床血液 45: 1023-1027,
- 23 *Matsui M, Tanaka K, Nagumo F, Kuroda Y: Central nervous system immunity associated with clinical outcome in acute encephalitis. Neurological Sciences 227: 139-147, 2004.
- 24 Nagasawa Z, Manome I, Nagayama A: A rapid antimicrobial susceptibility test based on chemiluminescence assay and its application to screening of genotypes in vancomycin-resistant enterococci. J. Infect. Chemother. 10: 220-226, 2004.
- 25 °大城知子, 福富由美子, 高柳 恵, 草場耕二, 永沢善三, 青木洋介, 永山在明: 経口セフェム系薬の各種臨床分離菌株に対する抗菌力. THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS 2: 681-690, 2004.
- 26 °大城知子, 福富由美子, 高柳 恵, 草場耕二, 永沢善三, 青木洋介, 永山在明: 経口フルオロキノロン系薬の各種臨床分離菌株に対する抗菌力. 化学療法の領域 2: 121-129, 2004.
- 27 坂口美和, 中村光男, 次富久之, 平木将紹, 中園貴彦, 森 大輔, 佐藤敏美: 乳腺原発 Neuroendocrine carcinoma の一症例. 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 35: 59-62, 2004.
- 28 °清祐麻紀子, 高柳 恵, 永沢善三, 小口 晃, 永山在明: TEIC 低感受性 MRSA 株による院内アウトブレイクの分子疫学的解析. 感染症学雑誌 78: 580-587, 2004.
- 29 高柳 恵, 福富由美子, 草場耕二, 永沢善三: *Vibrio* 属の同定検査および薬剤感受性試験に及ぼす塩濃度の影響. 医学検査 53: 933-939, 2004.
- 30 高柳 恵, 永沢善三, 草場耕二, 青木洋介, 永山在明: 当院における臨床分離菌の年次調査と MRSA に対する teicoplanin, vancomycin, および arbekacin の感受性サーベイランス. 新薬と臨床 53: 968-974, 2004.

2003年学術論文追加

- 1 青木洋介: インフルエンザウイルス感染症の診断. 医界佐賀・臨床検査一口 962: 32, 2003.

学会発表

- 1 青木洋介, 福岡麻美, 草場耕二, 高柳 恵, 永沢善三, 長澤浩平: 深在性真菌症を疑う感染症コンサルテーションにおける抗真菌薬治療開始の閾値についての検討. 第78回日本感染症学会総会. 2004, 4, 6. 感染症学雑誌 78: 204 (一般演題).
- 2 青木洋介: IT 重視型の細菌検査システムは耐性菌を抑制できるか. 第52回日本化学療法学会総会. 2004, 6, 4. 日本化学療法学会雑誌 52: 61 (シンポジウム).
- 3 福岡麻美, 青木洋介: インターアクティブカンファレンス (症例提示). 第78回日本感染症学会総会. 2004, 4, 7. 感染症学雑誌 78: 72.
- 4 中村光男, 坂口美和, 次富久之, 佐藤敏美, 渡辺恵子, 中原慎二, 杉田保雄, 徳永 蔵, 杉原 甫, 徳田雄治: 巨大な嫌色素性腎細胞癌の1例. 第20回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2004, 9, 4. (症例報告).
- 5 坂口美和, 中村光男, 次富久之, 佐藤敏美, 浜田龍彦: 電子カルテ運用に伴う病理システムの導入について. 第45回日本臨床細胞学会総会. 2004, 7, 18. 日本臨床細胞学会雑誌 (43): 208 (一般

示説).

- 6 高柳 恵, 福富由美子, 草場耕二, 永沢善三: Vibrio 属の同定検査および薬剤感受性試験に及ぼす塩濃度の影響. 第54回日本医学検査学会. 2004, 5, 14. 医学検査 (53): 561. (一般演題).
- 7 山田尚友, 佐野雅之, 南雲文夫, 大塚康子, 福岡麻美, 福島伯泰, 菅 謙司, 末岡英三郎, 伊藤 翼: 抗生物質が誘因と思われる自己抗 E 抗体による免疫性溶血貧血の一例. 第52回日本輸血学会総会. 2004, 6, 23. 日本輸血学会雑誌 (50): 223 (教育講演).

研究助成等

職名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
助教授	青木 洋介	平成16年度厚生労働省科学研究補助金	健康科学総合研究事業	生活環境におけるレジオネラ感染予防に関する研究, レジオネラ感染症の臨床疫学的診断の開発に関する研究	1,000